

博士後期課程

●基本情報

学 位：博士(都市経営)
修了要件：必要単位数 19単位

入 学 定 員：5名
標準修業年限：3年

●事前相談

志願者は、出願前に希望する研究指導教員に相談の上、了承を得てください。
学生募集要項の教員一覧より希望する研究指導教員を選び、学生募集要項で指定する期日までに、必ず相談してください。
事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。
教員への連絡先は、杉本キャンパス入試課にメールで問い合わせください。
【問合せ先】E-mail: gr-nyu-gss@omu.ac.jp

●履修モデル

	1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次前期	3年次後期
大学院共通教育科目	研究公正B 1単位					
講義科目	都市経営特殊講義 2単位					
演習科目	都市経営演習 4単位					
特殊研究演習科目	都市経営特殊研究演習1 4単位		都市経営特殊研究演習2 4単位		都市経営特殊研究演習3 4単位	

(すべて必修科目)

梅田で学ぶ!

働きながら学ぶ!

さらなる高みへ。



ACCESS

■梅田サテライト



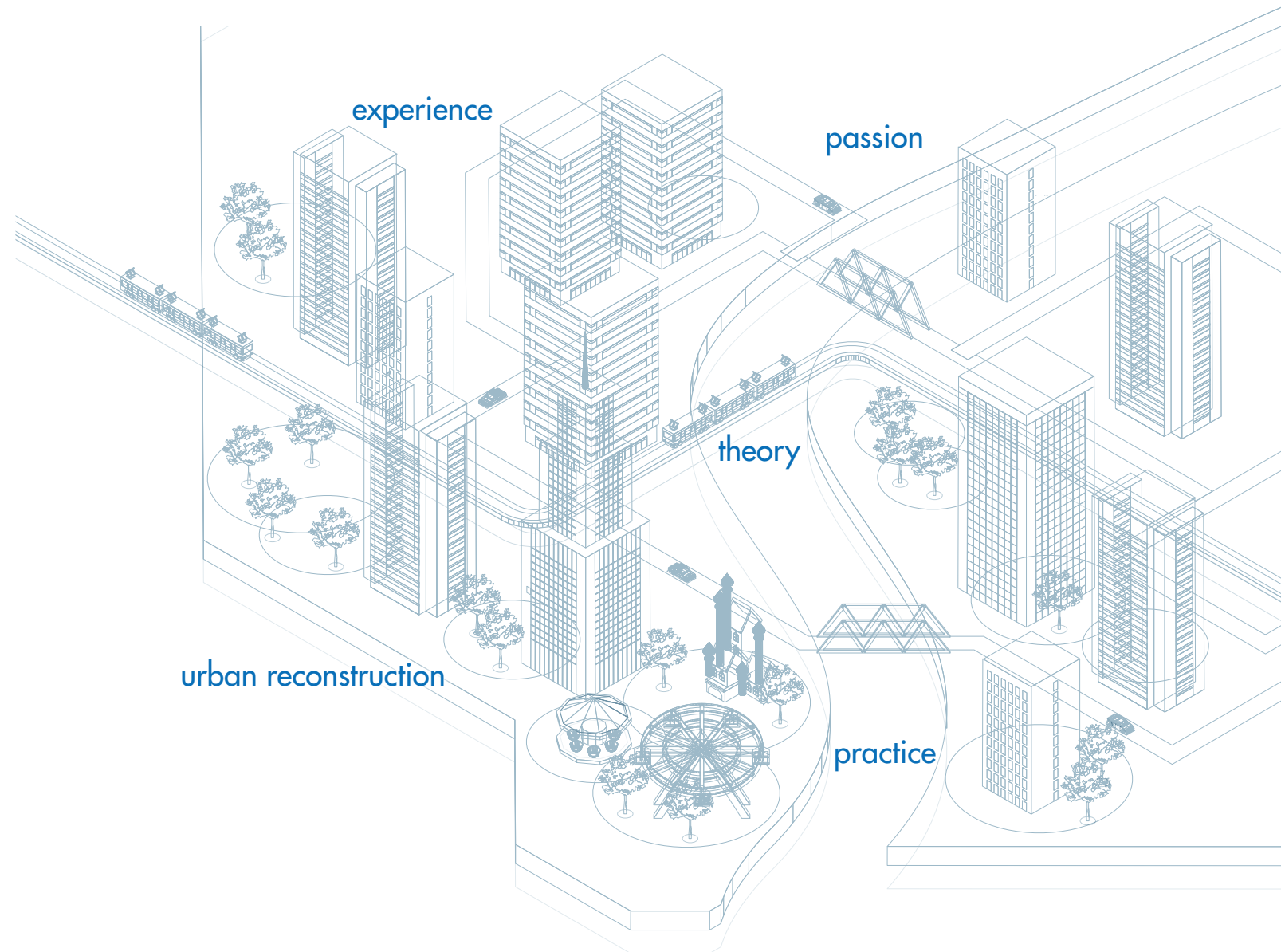
大阪公立大学大学院
経営学研究科都市経営専攻
<https://www.omu.ac.jp/bus/>
E-mail : gr-kyik-gsum-apply@omu.ac.jp



- ・ JR東西線「北新地駅」下車、徒歩約1分
- ・ JR「大阪駅」下車、徒歩約10分
- ・ Osaka Metro四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- ・ Osaka Metro御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分

経験と情熱で未来をデザインする 社会人大学院

2026年
4月開設



大阪公立大学大学院経営学研究科 都市経営専攻

【研究分野】

- 都市政策・地域経済
- 医療・福祉
- 都市行政
- 都市ビジネス



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

都市経営専攻(新設)

博士前期課程・博士後期課程

2026年4月、大阪公立大学大学院都市経営研究科を引継ぎ、経営学研究科の教育・研究体制を加えて、より充実した社会人大学院として、経営学研究科都市経営専攻を発足します。

●経営学研究科都市経営専攻の特色

本専攻は、経営諸科学に関する専門知識と研究能力を備え、ビジネスとビジネス社会に関する課題発見能力・政策提言能力・変革マインドを兼ね備え、民間部門・公的部門・非営利組織などの諸課題を解決しうる人材の養成を目的とする経営学研究科において、都市を支える機関で、主に都市経営の現場で実務にあたる社会人を対象にした大学院です。

都市経営の現場では、深刻な問題群(都市インフラの老朽化や対人社会サービスの不足、自治体職員の減少、地縁組織や家族の扶助機能の低下、中小企業の人手不足や事業継承の問題等)が生じています。

本専攻では、都市経営(都市政策・地域経済、医療・福祉、都市行政、都市ビジネスなど)に関する専門的知見を活用した新たな視点から課題を発見・解決するための複眼的思考や、共同実践を可能にする能力を涵養するために、経営学、経済学、政策学、法学、行政学、社会学、倫理学等の学際的な教育・研究体制をとっています。また、博士前期課程と博士後期課程を設置し、体系的・段階的な教育を提供することができます。

【都市政策・地域経済研究分野】

人口減少・高齢化、産業空洞化、財政的制約、経済基盤の変化といった課題に対応するため、持続可能なまちづくりや創造性を生かした新たな政策展開が求められています。都市政策・地域経済研究分野では、まちづくり、文化政策、観光振興、都市再生、公民連携の視点を活かした政策のあり方を研究します。

【医療・福祉研究分野】

本分野は、医療・福祉を広く支える機関の経営に資する研究として、医療・社会福祉法人・施設の経営管理職が勤務先法人・施設の業務・組織を変革する実践研究、バルネラビリティを有する人びとの権利を基盤に据えた福祉のあり方を現場・地域社会における量的・質的調査に基づき課題把握・分析する研究、生命倫理や科学技術倫理、ビジネス倫理の文献研究などを行います。

【都市行政研究分野】

都市の行政を取り巻く環境は日々変化しており、都市の再生と活性化のためには、そうした変化に対応した政策が必要です。本分野では、行政や議会、公益法人等で活躍される方々の政策形成能力の向上につながるよう、行政組織、法政策、社会政策、市民の合意、NPOや公益法人の運営に関する課題等を研究します。

【都市ビジネス研究分野】

本分野は、都市活力の再生のための中小企業やベンチャービジネスの活性化に必要な、中小企業やベンチャービジネスのイノベーション促進、経営革新、IT化および事業創造やAIやIoT時代を迎えるICTを中心とした新産業振興を研究します。

●平日夜2日と土曜通学で修了可能(博士前期課程)

社会人が働きながら通えるように、平日夜2日と土曜通学で修了可能です。

授業時間 平日 午後6時30分～午後9時20分まで (一部午後5時30分より開始する授業があります)
土曜 午前9時30分～午後5時20分まで ※1コマ50分授業

●交通便利な大阪駅前第2ビルで開講 (アクセスは裏表紙参照)

主な授業は、大阪駅前第2ビル6階の梅田サテライトで開講されます。

博士前期課程

●基本情報

学 位：修士(都市経営)

入 学 定 員：56名(秋季募集・冬季募集合計)

修了要件：必要単位数 31単位

標準修業年限：2年

●履修モデル

	1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期
大学院共通教育科目	● 研究公正A 1単位			
基礎科目	講義 3単位以上			
中核科目	講義 6単位以上			
	ワークショップ1 3単位	ワークショップ2 3単位		
		課題演習1 2単位	課題演習2 3単位	課題演習3 3単位
関連科目	講義 3単位以上			
研究演習科目			● 研究演習1 2単位	● 研究演習2 2単位

(●は必修科目)

●主な研究テーマ

都市政策・地域経済研究分野

「まちづくり、文化政策」「観光振興、都市再生」「公民連携、都市政策」など

医療・福祉研究分野

「人権教育」「地域福祉」「医療・福祉経営」「生命倫理」など

都市行政研究分野

「地方行政、ガバナンス」「行政法制度、都市法政策」「都市社会政策、比較都市政策」など

都市ビジネス研究分野

「中小企業、ICTビジネス」「地域アントレプレナーシップ、産業クラスター」など

●主な対象者

NPO関係者、地域団体やまちづくり組織のメンバー、公務員、地方議会議員、都市プランナー、コンサルタント、アートコーディネーター、シンクタンク職員、研究・教育機関の関係者、メディア関係者、病院・診療所・調剤薬局・保健所・福祉事務所など医療現場の実務経験者、高齢者・障がい者・母子・こども・若者などを対象にした福祉の現場、マイノリティ支援の実務経験者、経済団体関係者、新しいビジネスを興したり、改善・改革しようとする起業家や社会人、都市型事業やビジネスの創造・支援に関心のある方

●特色ある参加型授業：ワークショップ

- ・3時限連続開講による体系的取組
- ・講義と演習を組み合わせた参加型授業
- ・当該分野の第一人者による講演と質疑ディスカッション

〈過去のワークショップ例〉

- ・大阪地下街の経営戦略
- ・「再都市化」と都心コミュニティ
- ・まちのワークインフラを地域でつくり、「働く」をデザインする
- ・障害者福祉の課題と可能性

